

登録コード	A3594311		開講年度	2026			
授業科目	専攻研究					担当教員	中村 浩蔵
英文授業名	Thesis Research						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					食品分子工学に関する専門的な知識や研究能力を修得する。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って食品分子工学に関する問題をとらえ解決する能力を修得する。	
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					食品分子工学に関する専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し発信できる能力を修得する。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って食品分子工学に関する様々な課題をとらえ解決する能力を修得する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、食品に含まれる成分の分析，機能解析，高機能化に関する具体的な研究テーマを遂行し，その過程で，論文などから研究に関する専門知識を収集し，研究結果を導き出すために必要な基礎的な実験手法を身に付け，結果を理論的にまとめて発表する基礎的な技法を修得します。						
(5)授業計画	以下のようにして授業を進めます。 1、食品分子工学専攻研究内容の概説 2、ディスカッションによる専攻研究テーマの設定 3、専攻研究テーマと計画の発表 4、専攻研究の実施 5、研究結果の発表と質疑応答（専攻研究 では卒業論文作成） 最後の授業回に授業アンケートを実施します。						
(6)自主学習の指針	・ウィークデイは基本的に個人での研究活動（情報収集，実験）になります。 ・専攻研究を進めるためには論文，専門書などを原文（主に英語）で読む必要があります。						
(7)成績評価の基準	・研究テーマについて理解し，研究を論文としてまとめ，また，研究内容を適切にまとめて発表できるとき「水準にある」。 ・研究テーマについてよく理解し，計画的に研究を進めて論文としてまとめ，研究内容と成果を理解しやすくまとめて発表でき質疑応答ができるとき「やや上にある」。 ・研究テーマについて十分に理解し，計画的に研究を積極的に進めて学術論文レベルにまとめ，研究内容と成果を理解しやすくまとめて魅力的に発表でき，学問的な質疑応答ができるとき「かなり上にある」。 ・研究テーマについて背景を含めて十分に理解し，自主的かつ計画的に研究を積極的に進めて新規性のある研究成果を得て学術論文レベルにまとめ，研究内容と成果を理解しやすくまとめて魅力的に発表でき，学問的に深い質疑応答ができるとき「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	・ウィークデイは基本的に個人での研究活動（情報収集，実験）になります。 ・専攻研究を進めるためには論文，専門書などを原文（主に英語）で読む必要があります。						
(9)テストやレポートの予定	・テスト（期末試験）は行いません。 ・学期末には期末発表を行い，期末報告書（専攻研究 では卒業論文）を提出してもらいます。 ・ゼミで専攻研究の進捗状況報告，論文紹介，期末発表を行う際には資料を作成してもらいます。						
(10)成績評価の方法	・研究室ゼミへの参加と態度，研究への取り組み状況，期末発表，期末報告書によって評価します。 ・全ての研究室ゼミへは必ず参加することとし，やむを得ない理由があるときには事前に許可を取ることが必要です。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室およびメール相談に随時に対応します。 食品分子工学研究室 Tel 0265-77-1638，e-mail: knakamu@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	・本講義では，動物実験講習会，特定化学物質取扱い安全講習会を受講することが必要です。 ・実験を行う際には安全には十分に注意し，基本的に複数で行ってください。 ・目標達成できれば，研究活動は基本的に自由です。 ・学会等での研究発表は，研究者のコミュニケーションで重要な位置を占めますので，積極的に行うことを推奨します。実験で導き出した研究結果を，効果的に発表する能力を身に付ければ，様々な場面で応用できると思います。						
【教科書】	配布資料等						
【参考書】	特に指定しない						